

# 『紫式部』を読み解く

『源氏物語』と『紫式部日記』に迫る

◆ 原文テキストは古典セレクション『源氏物語』（全十六冊）（小学館）

時間はすべて午後2時から4時  
毎回、第3日曜日の講座です

第1回

9月15日(日) 『紫式部日記』①  
「桐壺」<sup>きりつぼ</sup>「夕顔」<sup>ゆうがお</sup>「若紫」<sup>わかむらさき</sup>「葵」<sup>あおい</sup>

第2回

10月20日(日) 『紫式部日記』②  
「賢木」<sup>さかき</sup>「須磨」<sup>すま</sup>「明石」<sup>あかし</sup>「蓮生」<sup>よもぎう</sup>「関屋」<sup>せみや</sup>「絵合」<sup>えあわせ</sup>

第3回

11月17日(日) 『紫式部日記』③  
「薄雲」<sup>うすぐも</sup>「朝顔」<sup>あさがお</sup>「少女」<sup>おとめ</sup>「玉鬘」<sup>たまかづら</sup>「蛭」<sup>はた</sup>「常夏」<sup>とこなつ</sup>

第4回

12月15日(日) 『紫式部日記』④  
「野分」<sup>のわき</sup>「行幸」<sup>みゆき</sup>「真木柱」<sup>まきはしら</sup>「若菜上」<sup>わかかな</sup>「若菜下」<sup>わかかな</sup>

第5回

1月19日(日) 『紫式部日記』⑤  
「横笛」<sup>よこぶえ</sup>「鈴虫」<sup>すずむし</sup>「夕霧」<sup>ゆうぎり</sup>「御法」<sup>みのり</sup>「幻」<sup>まぼろし</sup>「匂兵部卿」<sup>におうひょうぶきょう</sup>  
「紅梅」<sup>こうばい</sup>

第6回

2月16日(日) 『紫式部日記』⑥  
「橋姫」<sup>はしひめ</sup>「総角」<sup>あげまづ</sup>「宿木」<sup>やどりぎ</sup>「手習」<sup>てならい</sup>「夢浮橋」<sup>ゆめうきはし</sup>

場所 ● 図書館3階 健康支援室・講座室

対象 ● 一般（高校生以上）

講師 ● 河原徳子（文芸評論家）

定員 ● 50名

申込み開始 ● 8月7日(水) 午前9時から開始

申込み ● 電話・FAX・メールのいずれかで  
お申込みください 申込順に受付

①名前 ②連絡先

講師 ▼ 河原 徳子 氏（文芸評論家）

徳島市生まれ 鈴鹿市在住 日本文学研究家  
朗読サークル「パティオ」主宰  
三重県生涯学習センター、鈴鹿市民大学等で20年以上講師をつとめる。  
『となりの文豪』風媒社で平成26年斎藤緑雨文化賞受賞  
安城市では平成27年度「女流文学講座」を開催して以降  
毎年古典文学を中心に講座を開催。  
令和6年2月『ものがたりの舞台』を風媒社から出版。